

第2回品川区幼稚園今後のあり方検討委員会 議事録

○ 総括

案に示されているスケジュールのとおり、令和4年8月に方針決定、9月に公表という流れで進めることは確認・共有した。パターン1（令和5年度末伊藤幼稚園閉園）、パターン2（令和6年度末伊藤幼稚園閉園）どちらで進めるかについては、今回の意見も踏まえて区の判断となる。

区分 (発言者)	質問・意見	回答
意見 (丸山委員)	○障害のある児童の中には、少人数でも手厚くみてもらえるということであえて人数の少ない伊藤幼稚園を選んでいるケースがあった。距離感と需要という意味でも、公立幼稚園の役割はあったと思う。	—
質問 (佐藤委員)	○将来の利用率の設定でのトレンド(下位)について、平成31年・令和2年の利用率が高かった理由はあるか。	○特定できるものではないが、幼児教育保育の無償化の影響が考えられる。
意見 (佐藤委員)	○伊藤幼稚園に通えなくなった時の受け皿ということで、具体的に二葉幼稚園が挙がっていた。1kmと厳密にするとできないかもしれないが、具体的に挙がっている事実があるのであれば、プロットしたほうが良い。	○ご指摘のとおり。 ○もう少し広く見て2kmくらいまでであれば浜川幼稚園、平塚幼稚園もぎりぎり含まれるので、周辺では3園が受け皿として可能。
意見 (丸山委員)	○令和2年～令和3年は新型コロナウイルス感染症拡大で地域の方を園に呼べなくなった。例年行っている未就園児の会や幼稚園公開等が開催できなかったため、実際に見て選んでいただくという事ができなかったのも影響していると思う。	—

区分 (発言者)	質問・意見	回答
質問 (初貝委員)	○施設の老朽化と改築費用等を踏まえたという部分では、城南、浜川幼稚園はまだ大丈夫で伊藤幼稚園は古いということか。	○大規模改築や幼保施設への転換には相当の費用がかかる。学校の改築計画に伊藤小学校が載っていない中で、幼稚園だけできるのかなど複数の要因を踏まえた結果、閉園の提案に至った。 ○園児数が下降トレンドの中、費用対効果を検討すると、他の受け皿となる幼稚園があるならば、行政として検討しなければならない。
質問 (柏原会長)	○区立の利用率が増えた要因の一つとして、無償化を挙げていたが説明がほしい。 ○令和2年から3年にかけてのコロナの影響があったという話は区全体のトレンドと受け止めた方が良いか。またこの間に改築があったが、それと利用率の関係はどう分析しているか。	○子どもを施設に預けやすくなった。無償化されるのであれば預けたいという家庭もあったのではないかとということで、令和2年は増えていると推測している。 ○改築の影響で新しく建て変わった後は、入園希望者が一定数伸びていると思うが、城南・浜川幼稚園はもう少し様子を見たい。
意見 (丸山委員)	○令和3年度の城南幼稚園では、園舎はきれいになったが園庭は工事で使えず、近隣の公園を活用して保育を進めていた。さらに、コロナで見学者を受け入れられなかった等の影響もあり、工事をしてきた園については厳しい現状となった。	—
意見 (立木委員)	○コロナの影響に関しては、多少の地域性がある。あまり減っていない園もあれば、伊藤幼稚園のように減ってしまった園もある。施設の状況や近隣に代替施設があったかどうか、保育園により多く流れたのでは等、様々な要因をトータルして見る必要がある。	—
質問 (佐藤委員)	○私立の3年保育は途中からは入れない制度なのか。	○私立幼稚園の3年保育に関しては、若干名の募集があったり、4歳、5歳での枠を設けていたりする。各園の事情はあると思うが、転園は可能性がないわけではない。

区分 (発言者)	質問・意見	回答
意見 (佐藤委員)	<ul style="list-style-type: none"> ○パターン1のデメリット3つ目(来年度年長になる在園者の、年長のみクラスになることへの理解)は、パターン2でも生じることなので、載せない方が正しいと感じる。 ○パターン2のメリット2つ目(現在2歳児の入園希望者が私立(3年保育)を選択できる)について、前回議論で、公立を希望される方は公立に行きたいと思われる方が多いという意見があったので、ここに載せるべきではないと感じた。 ○各区の事例をみると、パターン2が多い。期間は取っていたが、廃園が決まっているので、前倒して廃園となったというところもある。同様のことがあったのかは確認したほうが良いと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年長のみクラスになることへの理解については、入園してから理解を得るのではなく、入園前に理解していただきたいという意味で記載した。 ○パターン2のメリット2つ目については、選択肢として可能性はあるので記載している。 ○他区の事例については引き続き情報収集する。
質問 (勝亦委員)	<ul style="list-style-type: none"> ○パターン1について「理解を得る」ことを懸案としているが、理解いただければ容易に突破できるという感触なのか。現場の準備期間不足についても、頑張ればいけるようなレベルなのか。 ○メリットの「実情に即した早い段階での対応」というのは、学校内の施設であるため大胆な転用も難しいと思うが、早く閉めることでのメリットをどれだけ出せるのか、考えを教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「現場における準備期間不足」に関しては、クラスが年長のみになってしまうということで、近隣園との連携など工夫が必要だが、半年程度前から準備することである程度クリアできている。 ○ご理解については相当厳しい反応がある覚悟している。ただ、行政の中でも資産として、閉園後何かしら有効に転用できるなどをセットで打ち出すことで理解を求めていく必要があると考えている。
意見 (勝亦委員)	<ul style="list-style-type: none"> ○ある程度反発が予想されるのであれば、伝え方を考える必要がある。 	—
意見 (丸山委員)	<ul style="list-style-type: none"> ○現状、伊藤幼稚園の未就園児が15、6名参加しており、2・3歳から来たいと希望もある。そういったことを踏まえるとパターン2の方が幼稚園全体の運営を考えると、やりやすいと思う。 ○平成9年の八潮地区の公立幼稚園統廃合の際は、統廃合までの期間が充分であったため色々な対応が取れ、穏やかに移行できた。現場としては時間を頂いた方がありがたい。 	—

区分 (発言者)	質問・意見	回答
意見 (柏原会長)	○パターン1でもパターン2でも、今年の8月に決定して9月の発表は変わらない。閉園を令和5年度末でいくか、令和6年度末かという差なので、方針決定して今年中に出すというのがポイントだと思う。パターン1は急いでやらなければならないが、パターン2の場合も発表はするので、どれだけ人が集まってくるかなど影響はあると思う。	○パターン1もパターン2も同じ決定スケジュールにした。いずれも早い段階に公表することで理解を得たい。パターン2をもう少し先に延ばしたとしてもパターン1の状況と結局変わらない。パターン2でも早めに周知することで、来年度入園希望の方にも配慮し、バッファ期間を取ることで、その間に手続きを進めていくといった考え方で頭は揃えた。
質問 (米田副会長)	○施設の活用をどうするのかという話は出てくると思う。考えがあれば聞きたい。	○近隣の子育て世代や町会など地域の方から利用希望があると思う。具体案は考えられていないが、学校等との調整で使えるものがあれば、地域の子育てに関してアピールできるようなものにしたい。